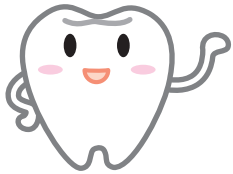


精神神経系のくすりの注意について (くすりの豆知識を知っておきましょう)



向精神薬による口渇

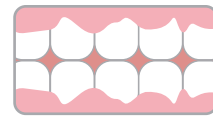
精神神経系のくすりの中で注意が必要な副作用に口渇（口がカラカラ）があります。口腔内が乾燥すると衛生状態が不良になりやすく、う蝕（虫歯）や歯周病の増悪に影響を及ぼします。



問診で服用中のくすりを確認し、歯科医師と情報を共有して口渇の原因が疾患（病気）によるものか、くすりによるものかを確認していくのが大切です。

抗てんかん薬による歯肉増殖症

抗てんかん薬では歯肉増殖に注意が必要なくすりがあります。抗てんかん薬の中でも、フェニトイン（アレビアチン）を服用している患者さんの約50%に歯肉増殖症が起こるといわれています。



歯肉増殖症によって歯肉の炎症やプラークの増殖が起こりセルフケアが難しくなり、口腔内の衛生状態が不良になりがちです。

歯科診療で気をつけるポイント

精神神経系の病気があっても、治療により状態が安定している場合には歯科治療が特にリスクになることはありません。しかし治療を中断してしまう人もなかにはいるため、通院状況を確認する必要があります。また、口腔内の口渇を改善するには歯科医院にて口腔内の保湿をしっかりと行うことで口腔機能を改善します。全身疾患の抑制も考慮して治療を行いますのでそちらもご相談ください。

つかか
あって
さおい
いて

